

群馬総社 駅まちレター

いま、群馬総社駅が変わろうとしています。
どんな“駅まち”にしたいか、
みんなで考えるワークショップを実施しています。
この通信ではその様子をお届けします。

群馬総社駅まちワークショップ 第4回開催報告書

群馬総社“駅まち”ワークショップとは

前橋市では令和12年の供用開始を目指し、JR群馬総社駅の西口開設（駅舎・東西自由通路の整備、西口駅前広場・西口アクセス道路の整備等）事業に取り組んでおります。

この事業を契機に群馬総社駅が将来に渡って、皆様に親しみを持っていただける駅となるよう、群馬総社駅周辺がどうなるとよいか、新しい“駅まち”でどのように過ごしたいかなど、皆様と一緒に群馬総社駅の未来について考えるワークショップを開催しています。

“群馬総社駅周辺” & “駅まちエリア”とは？

群馬総社駅周辺＝群馬総社駅を中心とした徒歩圏エリア（群馬総社駅を中心に概ね半径1km）

駅まちエリア＝群馬総社駅を中心としたエリア（群馬総社駅を中心に概ね半径100～200m ※東西自由通路、東西駅前広場、隣接地域までを含む）

群馬総社“駅まち”ビジョンとは

群馬総社駅周辺の地域特性分析と令和5年度に開催した駅まちディスカッションで、参加者の皆様からいただいたアイデアをも基に、「総社らしい」駅を中心としたまちづくり実現のための方向性をまとめたもの。

第4回ワークショップ開催概要

日時：2024年9月29日（日）13:30～15:30

会場：総社市民サービスセンター ホール

参加者：31名



群馬総社駅まちワークショップの
開催状況はこちらのQRコードから
ご確認ください。

駅まちショートレクチャー

過年度から総社地区の地域特性等について、調査・研究を行っている前橋工科大学の杉浦榮先生から地域の人々によって生き生きと使いこなされている広場について、事例を中心にそのポイントをレクチャーして頂きました。

前橋工科大学
杉浦榮先生



「駅まち」は誰のもの！？

地域による運用・活用・管理に向けて

杉浦 | 「駅まち」は誰のものでしょうか？総社地区では元来、東口駅前空間を盆踊りの場とするなど、地域が主体となって「駅まち」を有効活用してきました。「駅まち」は、地域の人々のものなのです。「天理駅前広場コフフン」「多治見駅虎沢用水広場」「三宮駅サンキタ及び中央通り」など市民団体や地域NPO等が運営・管理を担う「駅まち」が近年増えています。地域の皆さんが計画・デザイン段階から参加し、中心となる基盤団体を設立し、完成後も運用に携わっていくこと、行政・事業者等と一体となって連携しながら駅まちづくりに継続的に取り組み、周辺の各拠点や活動ともネットワークを構築し積極的に活用していくことが、持続可能な「駅まち」を育みます。

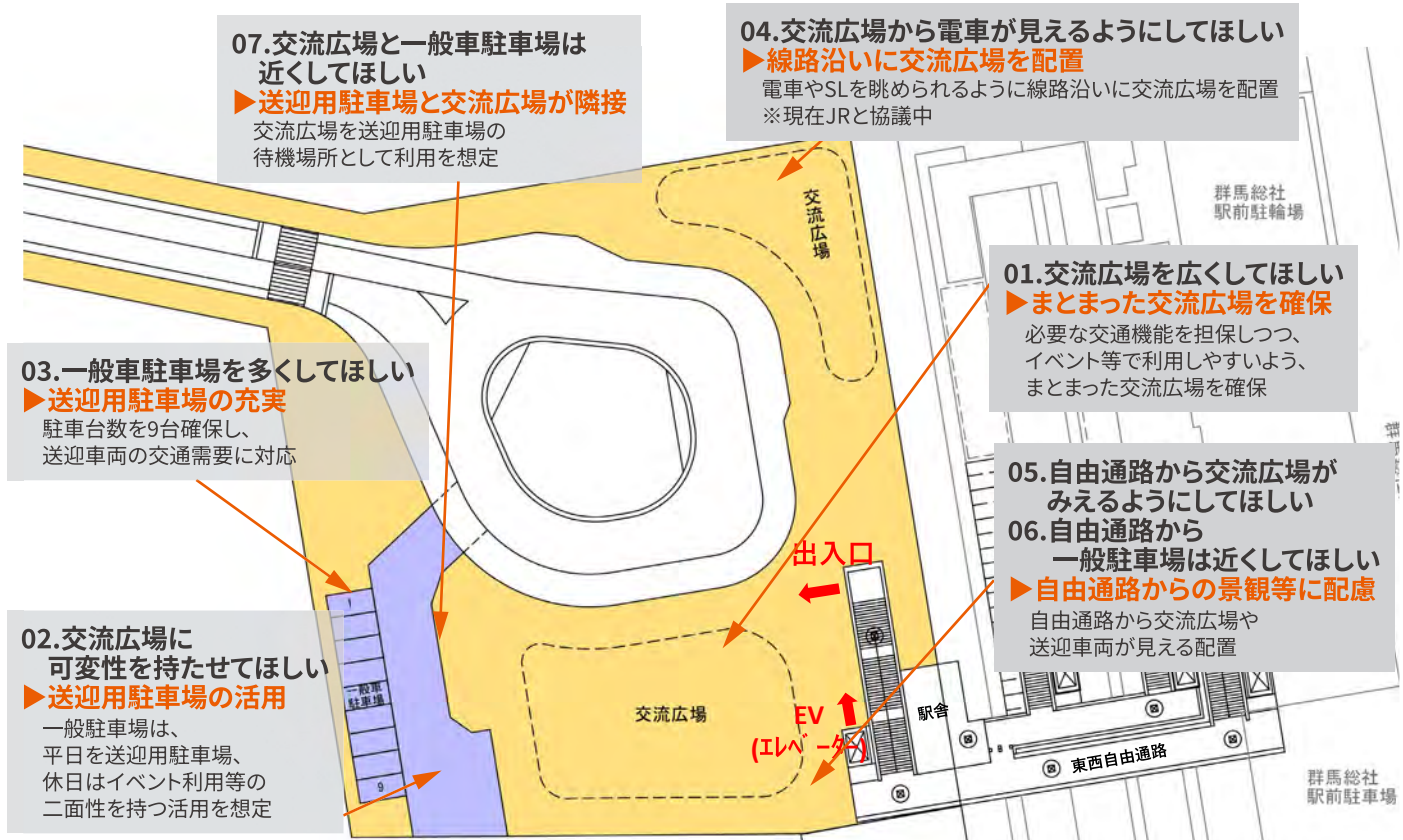
「群馬総社駅まちワークショップ」を通じて、地域の皆さんの意見を「駅まち」空間に反映するとともに、ぜひ今後の運用・活用に向けた基盤団体を立ち上げ、「群馬総社駅まち」を総社地区の拠点として地域の持続的な発展へと紡いでいってください。

駅まちディスカッション

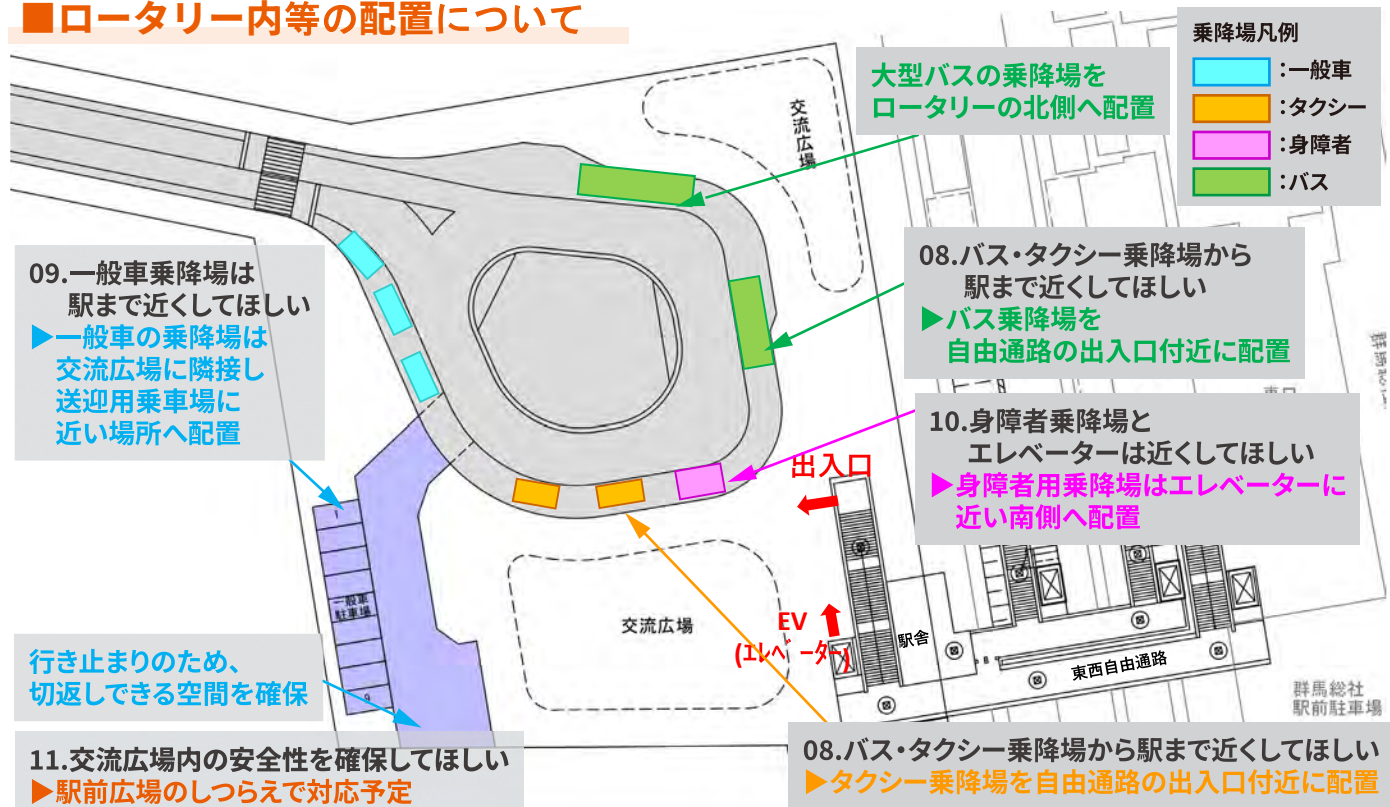
今年度の駅まちディスカッションは、西口駅前広場の整備イメージ作成に向けて、西口駅前広場がどうなればよいか、どのように過ごしたいかなどを皆様と一緒に考えます。

前回の駅まちディスカッションでは、特徴の異なる3つの西口駅前広場のレイアウト（イメージ）を用いて、時間帯ごとに駅前広場として、大切にすべき点は何かを確認しました。
皆様から頂いたご意見をまとめると、西口駅前広場には、以下の11のニーズが求められていることが分かりました。

■交流広場等の配置について



■ロータリー内等の配置について



■交流広場の配置およびロータリー内の配置を確認しよう

ワークを始める前に、11 のニーズを反映した配置図（左ページ参照）を各自で確認し、グループで感想を共有しました。



各自で付箋に感想を記入



感想をグループ内で共有

全体的に意見が反映
土まいて良いと思った。
特に交流広場まわりが
良くまとまっている感じが
思いました。

送迎用駐車場の
動線の流しが各に
角度、方向、距離が近い

●皆様からの感想

■ワーク：しつらえのレイアウトについて考えよう

前回の駅まちディスカッション（ワーク1）で皆様から頂いたシーンを基に、多様な活動を受けとめる「ニワ」である駅前広場を事務局で、用途別に以下の4つの「ニワ」に細分化し、しつらえのレイアウト案を作成しました。

今回のワークでは、4つのそれぞれの「ニワ」としつらえ*の関係を確認し、利用者目線でしつらえレイアウト案の「良い点」「悪い点」を出し合い、「悪い点」については、グループで改善方針を考えました。



各自で考えを整理



各グループで改善方針を検討



改善方針を基にレイアウトを作成

■しつらえのレイアウト案



裏面に続きます>>>

■各グループのしつらえレイアウト案に対する意見



【Aグループ】

- ・全体レイアウトはよくできている
- ・出会いのニワは、色々な用途で活用できるように固定のしつらえは少ないほうが良いと思う
- ・自転車の動線が心配

・・・など



【Bグループ】

- ・送迎用駐車場と出会いのニワの境に可動式の車止め(ポラード)によって、平日と休日で広場を使い分けできそう
- ・トイレの位置は、人通りの多い駅出入口の近くの方が使いやすいのでは

・・・など



【Cグループ】

- ・待ち合わせのニワは、日差しや雨の対策が必要だと思う
- ・全体的に緑が少ないと思う
- ・植栽の維持管理の方法を考える必要があると思う

・・・など



【Dグループ】

- ・人が継続的に集まる工夫(イベントの開催やコンテナショップの設置等)が必要だと思う
- ・風対策は、樹木ではなく柵などの物理的対策が必要だと思う

・・・など



【Eグループ】

- ・出会いのニワは、総社の居場所になってほしい
- ・出会いのニワで近隣保育園のこどもたちが走り回れるスペースがあると良さそう

・・・など

次回は皆様から頂いたご意見を基に整備イメージのとりまとめ案を報告します!!



デザイン設計者
伊藤氏

■前橋西高校で駅まちワークショップを実施しました！



前橋西高校の学生の皆さんは、学校行事の都合で今回の駅まちワークショップの参加が叶いませんでした。そこで、前橋西高校に訪問し、高校生のみなさんからもしつらえのレイアウトについて意見を伺いました。

いろんな花を
植えて駅前広場を
華やかにしたい!!

トイレの横の
テーブル・椅子は
少し使いたくない
かも...

駅まちディスカッションのスケジュール

R5年度

第3回 | 2024年6月29日 (済)

テーマ

- シーンから西口前広場の「しつらえ」を考えよう
- 西口駅前広場のレイアウトを考えよう

第4回 | 2024年9月29日 (済)

テーマ

- しつらえのレイアウトを考えよう

第5回 | 2025年1月25日

テーマ

- とりまとめ案の報告